

令和4年7月26日

令和3年度 特別の教育課程の実施状況等について

熊本県		
学校名	管理機関名	設置者の別
御船町立御船小学校（外2校）	御船町教育委員会	公立

1. 特別の教育課程を編成・実施している学校及び自己評価・学校関係者評価の結果公表に関する情報

学校名	自己評価結果の 公表ウェブサイト名・URL等	学校関係者評価結果の 公表ウェブサイト名・URL等
御船町立御船小学校	御船小ホームページ・教育課程特例校 <a href="https://es.higo.ed.jp/mifunees/7fe050255bf56bae45b7a009f5138b32">https://es.higo.ed.jp/mifunees/7fe050255bf56bae45b7a009f5138b32</a>	御船小ホームページ・教育課程特例校 <a href="https://es.higo.ed.jp/mifunees/7fe050255bf56bae45b7a009f5138b32">https://es.higo.ed.jp/mifunees/7fe050255bf56bae45b7a009f5138b32</a>
御船町立高木小学校	高木小ホームページ・教育課程特例校 <a href="https://es.higo.ed.jp/takakies/page_20200406030400">https://es.higo.ed.jp/takakies/page_20200406030400</a>	高木小ホームページ・教育課程特例校 <a href="https://es.higo.ed.jp/takakies/page_20200406030400">https://es.higo.ed.jp/takakies/page_20200406030400</a>
御船町立小坂小学校	小坂小ホームページ・教育課程特例校 <a href="https://es.higo.ed.jp/ozakasyo/7444003ab11d6ae075fc32ded590a2a6/page_20210916034932">https://es.higo.ed.jp/ozakasyo/7444003ab11d6ae075fc32ded590a2a6/page_20210916034932</a>	小坂小ホームページ・教育課程特例校 <a href="https://es.higo.ed.jp/ozakasyo/7444003ab11d6ae075fc32ded590a2a6/page_20210916034932">https://es.higo.ed.jp/ozakasyo/7444003ab11d6ae075fc32ded590a2a6/page_20210916034932</a>

2. 特別の教育課程の内容

(1) 特別の教育課程の概要

これからのグローバル社会で必要な豊かなコミュニケーション能力を有する人材を育成するため、御船小学校、高木小学校・小坂小学校では、1・2学年から特別の教育課程（英語）を実施している。

英語教育に力を入れている御船町として、低学年から英語教育に親しむ時間を多く設けることによって、一人一人の児童に「英語学習は楽しい!」と感じてもらい、英語教育の中で培われるコミュニケーション力を他教科でも活かし、「自ら考え、生き活きと表現する児童」の育成を目指している。

(2) 学校又は地域の特色を生かした特別の教育課程を編成して教育を実施する必要性

英語教育は、世界的な競争と共生が進む現在社会において、日本人としてのアイデンティティを持ちながら、広い視野に立って培われる教養と専門性、異なる言語、文化、価値を乗り越えて関係を構築するためのコミュニケーション能力と協調性、新し

い価値を創造する能力、次世代までも視野に入れた社会貢献の意識を持ったグローバルな人材を育成する上で必要不可欠な課題である。御船町では、魅力ある町づくりの一環として、子どもたちの英語力向上を目指し、英語専科教員の他に町独自採用の英語教育担当指導主事及び英語教育指導員を学校現場に配置し、ALTとともに、小中学校の英語教育の充実を図っている。

また、授業では外国の事を学ぶ際に、御船町の歴史・文化等を関連付けることで、英語でも子どもたちが自分たちの郷土の事を発信できる力を身につけるようにしている。

(3) 特例の適用開始日

小坂小学校：平成28年4月1日

高木小学校：平成31年4月1日

御船小学校：令和2年4月1日

3. 特別の教育課程の実施状況に関する把握・検証結果

(1) 特別の教育課程編成・実施計画に基づく教育の実施状況

- 計画通り実施できている
- 一部、計画通り実施できていない
- ほとんど計画通り実施できていない

(2) 実施状況に関する特記事項

児童を対象に、英語の授業等に関する意識調査を行った結果、「英語の授業は好きですか」の質問に「とても」「まあまあ」と回答した生徒が非常に多く、興味・関心は高いと言える。

(3) 保護者及び地域住民その他の関係者に対する情報提供の状況

- 実施している
- 実施していない

各校での取り組みや研究及び課題などをホームページ上に掲載し、学校で行われた英語教育に関するアンケート結果なども公表している。

#### 4. 実施の効果及び課題

##### (1) 特別の教育課程の編成・実施により達成を目指している学校の教育目標との関係

本町には、歴史的な遺跡や伝統・文化等が豊富に伝わっており、ふるさと「御船町」の良さを再認識させ、郷土を愛し、一人一人が持続可能な社会を担っていくような資質・能力の育成を目指している。その実現のためには、自分の気持ちを伝え、相手を知り、理解する他者理解力、すなわちコミュニケーション力が不可欠である。英語教育における主体的・対話的学習活動を通して、互いを理解し他者を尊重し、自分で課題を見つけ解決し、それを他教科、他活動に活かすことで、今後の社会を担う児童の育成につなげる。簡単な英語を使って、自分の事や身の回りの事を表現する事ができる児童数が増えている。

##### (2) 学校教育法等に示す学校教育の目標との関係

文部科学省は、平成26年に「今後の英語教育の改善・充実方策についての報告～グローバル化に対応した英語教育改革の五つの提言～」を公表し、英語教育の充実・強化のための改革が示された。そして、学習指導要領では、「主体的・対話的で深い学びの実現」が掲げられ、中学年での外国語活動、高学年での外国語科が導入されコミュニケーションを図る基礎となる資質・能力を育成するという目標が設定された。

このことから、小学校では、指導体制の充実や授業の工夫・改善を図りながら、英語に慣れ親しませ、主体的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成することが重要になってきている。英語専科、英語教育指導員任せの授業ではなく、担任は絶えず児童にとって、楽しくわかる授業になるよう、学びを続けている。

#### 5. 課題の改善のための取組の方向性

まずは授業づくりの工夫。「単元のゴールを見据えた授業づくり」を実施し、児童の興味・関心を高めるよう働きかけを行い、「こんなことが話せるようになりたい」と児童のやる気を引き出す授業づくりを、継続して行う必要がある。授業中に身につけた英語表現を廊下等ですれ違う際に、子ども同士・子どもと教師の間で使うことで、生きたコミュニケーションができる。

また、授業を振り返る時間を設け、児童自身の「気づき」を引き出し、学ぶ姿勢を構築する取り組みも必要である。様々なコミュニケーション活動を通して、新たな発見や課題を確認し、解決に向けて取り組む姿勢は、英語教育のみならず、他教科、他活動に活かすことで思考力や表現力が高まり、確かな学力の向上につながる。

そして、教職員への研修についても、御船町で英語教育担当者を集めて定期的に行われている「MEETの会（御船町英語教育推進研究会）」を継続し、各学校の取り組みや課題を共有することにより、教職員の授業の質の向上につなげていきたいと考える。